

工事名: _____

省エネ運転評価シート

氏名: _____

実施日:平成 年 月 日

油圧ショベル(型式 _____)

評価項目	実施項目 (実施されている項目に 印を記入)	
	整形	掘削・積込
エンジン回転は可能な範囲で低めで運転 (必要な時以外は、省エネモードの使用(16%の燃料節約)エンジン回転定格の80~90%程度が目安)		
アイドリングストップ		
旋回角度はできるだけ小さく (油圧ショベルの旋回角度がなるべく小さくなるように配置する)		
上段から積み込む		
一度にではなく上から掘削する (燃料当たり作業量は、掘削深さの浅いほうが効果)		
効率の良い範囲で掘削する (鉛直にしたアームの前方45度~手前30度が目安)		
強い掘削力を必要とする時は、ブームとアームの交差角90度よりやや大きめに掘削(掘削力は、主としてアームの引き込み力を利用)		
土の硬軟に合わせて掘削角度を変える (軟らかい土は、掘削角を大きく厚く掘る、硬めの土は、掘削角を小さくして切削抵抗を減らす)		
バケットの爪は、常にシャープに保つ (切削抵抗を上げないため、バケットの爪は、シャープに)		
むだな掘削はしない (満杯後の掘削、油圧がリフするよう負荷のかけ過ぎは、燃料を無駄に消費するだけ)		
適切な作業モードを選定する (適切な作業モードを選択して作業)		
エンジン回転を抑えて走行する (長距離走行を行う場合は、走行変速段を高速にして走行)		
泥ねい地は、トラックリンクの上引走行 (スラットを前進側にして走行する)		
合計印の数	個	個
省エネ運転実施率 (印数/8・13)	%	%

実施率

の数	1	2	3	4	5	6	7	8
整形	13%	25%	38%	50%	63%	75%	88%	100%

の数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
掘削・積込	8%	15%	23%	31%	38%	46%	54%	62%	69%	77%	85%	92%	100%

